

添付資料

漂流物衝突荷重の設定に用いる流速について  
(建家による流速への影響把握のための遡上解析)

令和2年4月1日  
建設部

1. はじめに

再処理施設の津波遡上解析にあたっては、敷地に津波が遡上することを踏まえて、建家の有無による影響を考慮して、保守的な設定となるよう津波高さ、流速の検討を行っている。

津波高さにおいては、再処理施設建家の有無による影響を確認して、保守的となるよう津波高さを算出した。

漂流物衝突荷重の設定に用いる流速については、3/11 監視チーム会合において「建家なしモデル」での解析結果を説明し、建家による影響確認は追加解析を行うこととしており、追加解析が終了したことから検討結果を報告する。

2. 解析結果

解析は、再処理施設の建家を考慮した「建家有りモデル」による津波遡上解析を実施し、流速への影響確認を実施した。

「建家有りモデル」による HAW 施設周辺の流速は、4.9m/s であり、3/11 監視チーム会合で説明した「建物なしモデル」の 5.2m/s を下回ることを確認した。TVF 施設周辺ではいずれもモデルにおいても 4.0m/s である。

以上のことから、漂流物衝突荷重の設定については、「建家なしモデル」による算出した流速に基づき評価を行う。

以上